



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー

「老いを受け入れる・後編」

「人生百年」と言われる時代です。しかし、すべての人が健康で幸せな百年を迎えられるわけではありません。特に、80歳からの生活は、70代までとはまるで違う事が多いようです。身体の不調も多くなりますし、「認知症かな」と自信をなくすこともあるでしょう。配偶者や身近な人の死を経験し、孤独や絶望を感じるかもしれません。ある高齢者専門の精神科医は、80歳を目前に寝たきりや要介護になる人が多く、「80歳の壁」は高く厚いが、壁を超える最強の方法として、80歳からは「幸福者」として、老いを受け入れ、今の自分のできることを、やりたいと思うことを大事にする。それが、「幸せな晩年」と「不幸せな晩年」の境目になると、説明しています。

訪問看護日誌



今年四月、お一人住まいの90代のSさんの在宅酸素の開始と同時に訪問診療と訪問看護が始まりました。在宅酸素とは、自宅に設置された酸素供給装置から、鼻チューブを介して濃度の高い酸素を吸入することです。外出時には酸素ボンベを引きながら歩くことになり、歩行器を使用しているSさんは、酸素を持っての通院が難しくなりました。当初はお一人での生活を考えると、不安でいっぱいでしたが、少しずつ慣

れて、ボンベの交換もご自分でできるようになり、デイサービスに出かけています。元気な時は都内のデパートに出かけていらしたのに、今では近所の買物もままならずストレスのようですが、ヘルパーさんやご友人の助けを借りながら生活しています。最近、近所の美容院に歩行器に酸素ボンベを乗せてお一人で出かけたそうです。そのバイタリティに驚かされ、今後、できることを増やしていけるようサポートしていきたいと思っています。

ひびくアラム



先月の「敬老の日」に合わせて、総務省が公表した65歳以上の高齢者の人口推計は3619万人、総人口の29.4%と過去最高を更新しており、主要7カ国(G7)の中でトップとのこと。今後高齢化率は上昇を続けると見込まれています。働く高齢者も増えており、65歳以上の就業者数は21年連続で増加し、高齢者の4人に一人は就業しています。「まだまだ働きたい」そう話される患者さんも多くおられます。就業先を産業別にみると「卸売業・小売業」に次いで「医療・福祉」、かくいう私もそのうちの一人です。

リハビリケア岡野です



昨年の介護保険報酬改定に伴い、要支援の利用者さんには、3ヶ月に一度のリハビリ会議が必要になりました。リハビリ会議は、利用者さんとご家族、ケアマネジャー、その他のケアスタッフが一同に会して、利用者さん

すたっふ便



山で採れる山芋に対して、里で採れる里芋は秋が旬です。日本には縄文時代に渡来したといわれる歴史ある野菜です。カリウムは芋類の中で一番多く、高血圧予防に効果的です。また、タンパク質、ビタミンB、ビタミンCを含み、栄養価が高いのが特徴です。しかも食物繊維が豊富で意外に低カロリーなので、体重が気になる人にもお勧めです。秋の風物詩の「いも煮会」、江戸時代米の不作に備えて、里芋を栽培していた東北地方の農民の収穫祭が始まりといわれています。

十月の予定ー神無月

休診日 二日・五日・十二日・

十三日・十九日・二十六日

※二日(木)は臨時休診です。



医療事務パートスタッフを募集しています。お問い合わせください。